

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	強度減弱前処置を用いた同種造血幹細胞移植における CAR (C-reactive protein/albumin ratio) の有用性の検討
	研究目的	固形腫瘍では予後予測の指標として C-reactive protein/albumin ratio (CAR) の有用性が報告されているが、造血器腫瘍や造血幹細胞移植ではその有用性は明らかでない。本研究では当院で強度減弱前処置を用いた造血幹細胞移植 (reduced intensity allogeneic stem cell transplantation, RIST) を受けた患者を対象として CAR の有用性を評価する。
	研究対象者	2009 年 3 月から 2019 年 3 月までに初回の RIST を受けた急性白血病および骨髄異形成症候群患者
	研究期間	西 暦 2019 年 11 月 27 日 ~ 西 暦 2022 年 9 月 20 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物 (尿・便) <input checked="" type="checkbox"/> その他(日本造血細胞移植学 <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録 会一元化プログラム)
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	鈴木泰生
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診 療科/部局等	血液内科
	共同研究の場合、共同 研究機関および各施設 での研究責任者	なし